HITACHI
Inspire the Next

【みずほ総研様コンファレンスご紹介資料】

人と組織の可視化サーベイのご紹介
～日立人財データ分析ソリューション～

2019/3/19

株式会社日立製作所

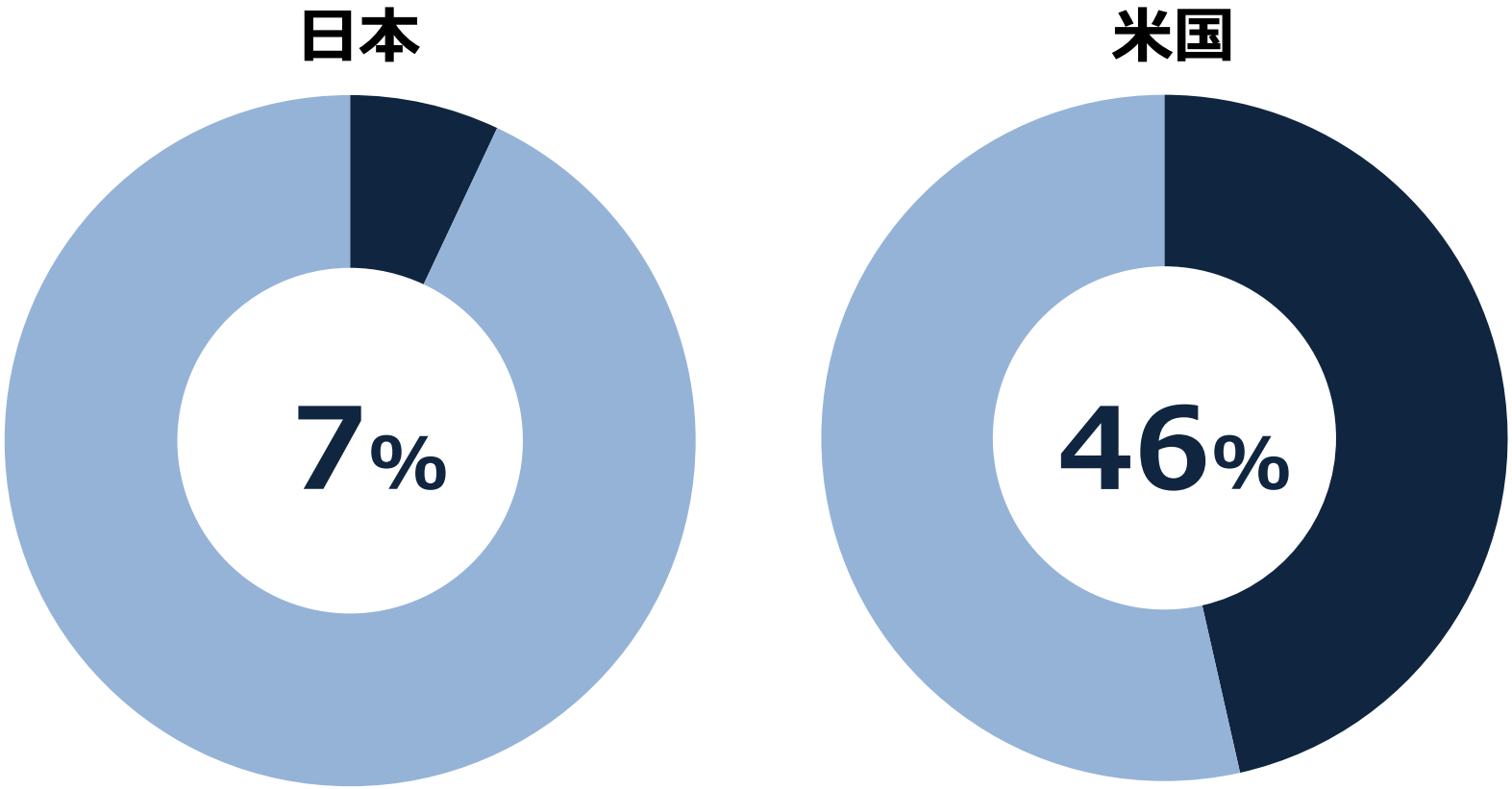
© Hitachi, Ltd. 2019. All rights reserved.

People Analytics対応の現状

HITACHI
Inspire the Next

日本企業のHR部門の実態

米国企業は約５０%がPeople Analyticsの専門組織（人財）を有している

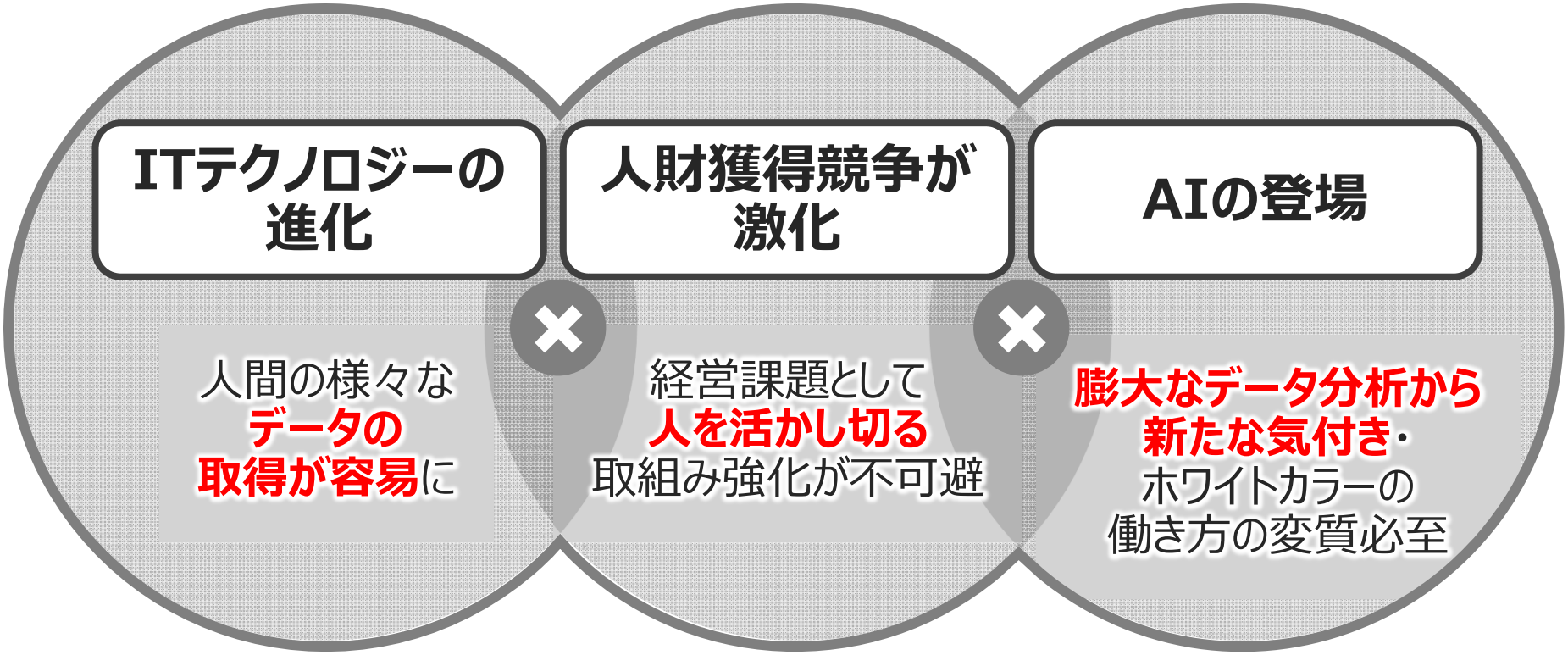


出典：PwCによる調査結果

欧米ではHRのエンジニア化も加速

© Hitachi, Ltd. 2019. All rights reserved.

HRテックを活用せざるを得ない背景



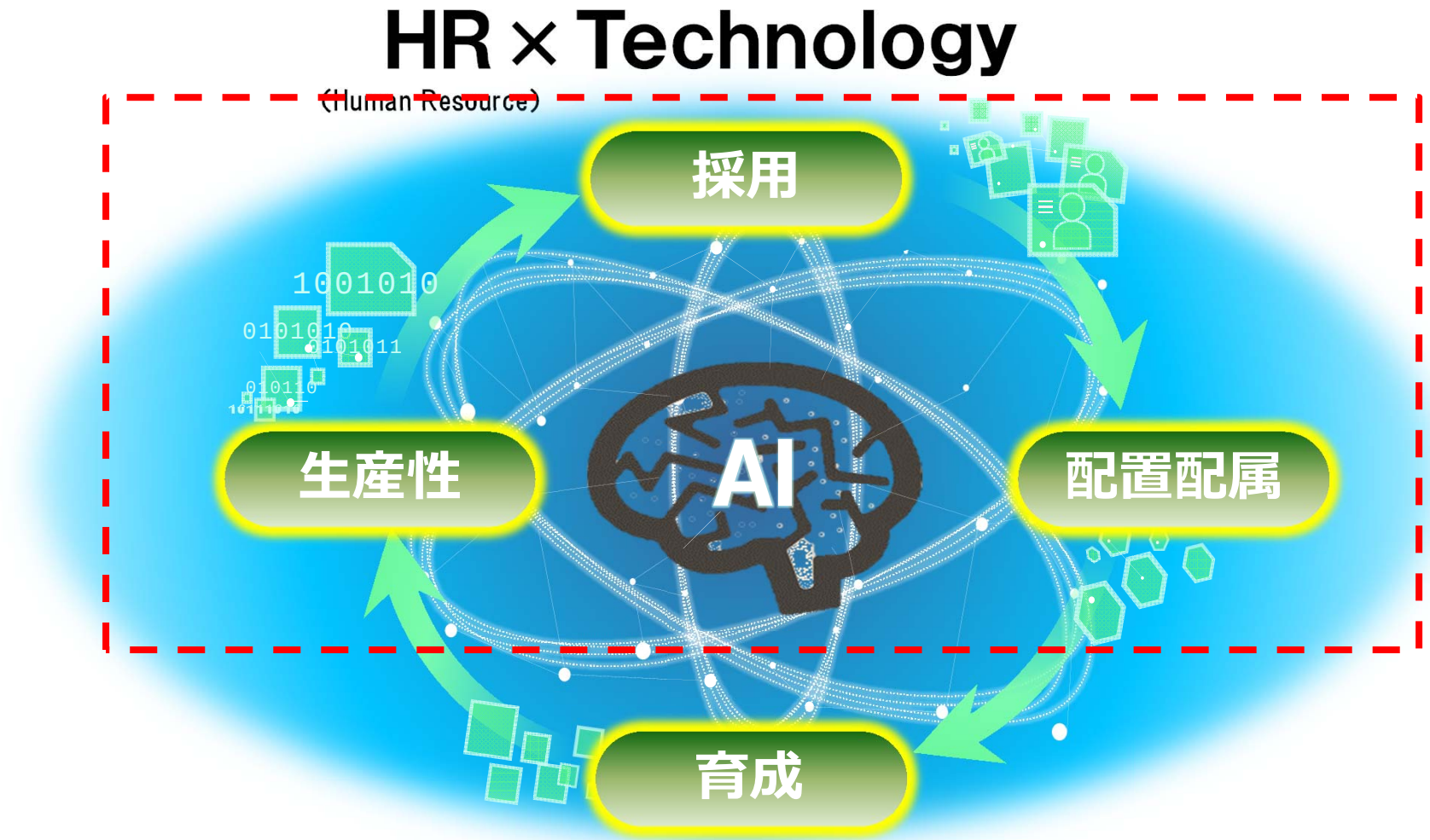
早くデータを活かした者が競争優位を獲得！

© Hitachi, Ltd. 2019. All rights reserved.

ソリューション対応領域

HITACHI
Inspire the Next

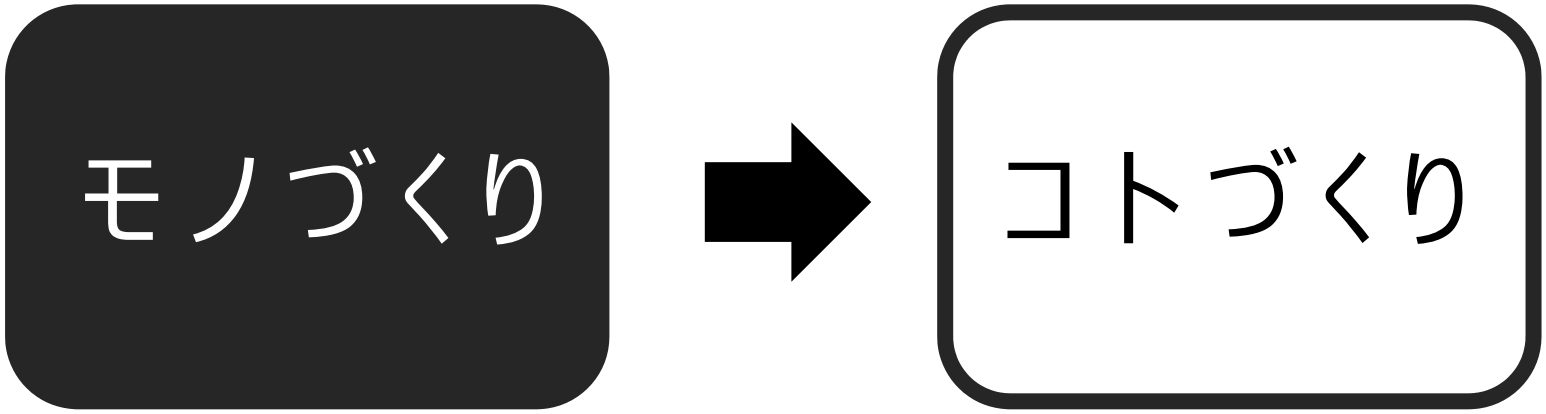
一人一人がイキイキと活躍できる社会の実現にむけた
HRバリューチェーンをスコープにソリューション展開



＊「育成」については現在開発検討中

© Hitachi, Ltd. 2019. All rights reserved.

採用アプローチの見直し



事業の変化に伴い、必要な人財タイプも変化

© Hitachi, Ltd. 2019. All rights reserved.

ホワイトカラーの生産性向上

HITACHI
Inspire the Next

総コスト最小化のための効率的な働き方の実現と付加価値最大化のための創造的な仕事へのシフト

今後、日本企業が取り組むべき、
生産性向上のフォーカス部分

$$\text{生産性} = \frac{\text{付加価値（アウトカム）}}{\text{総コスト（インプット）}}$$

…人財づくり

…時間づくり
(総労働時間短縮)

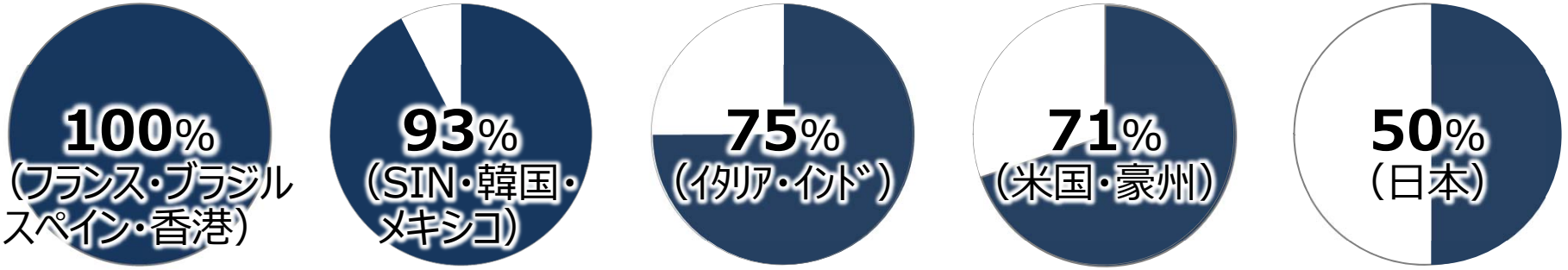
現在の国内の働き方改革、
生産性向上の取り組みの中心部分

© Hitachi, Ltd. 2019. All rights reserved.

日本の労働観の実情

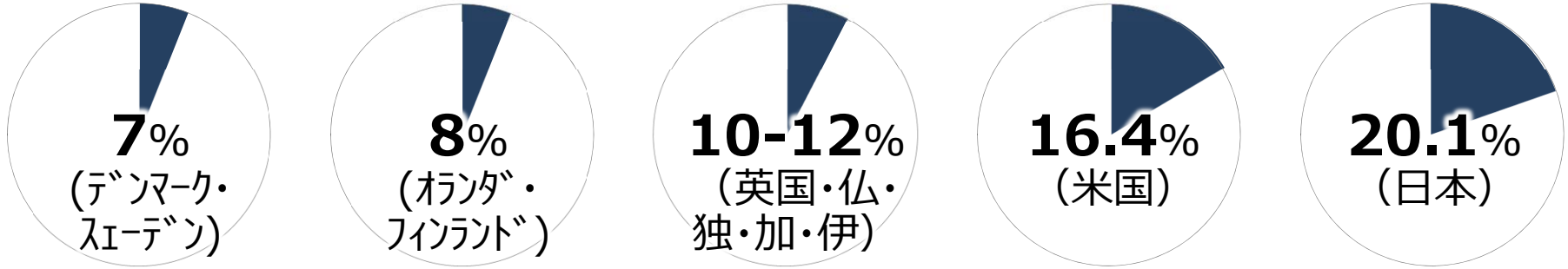
HITACHI
Inspire the Next

年休消化率



世界19ヶ国有給休暇国際比較調査2018より

週49時間以上働く人の比率



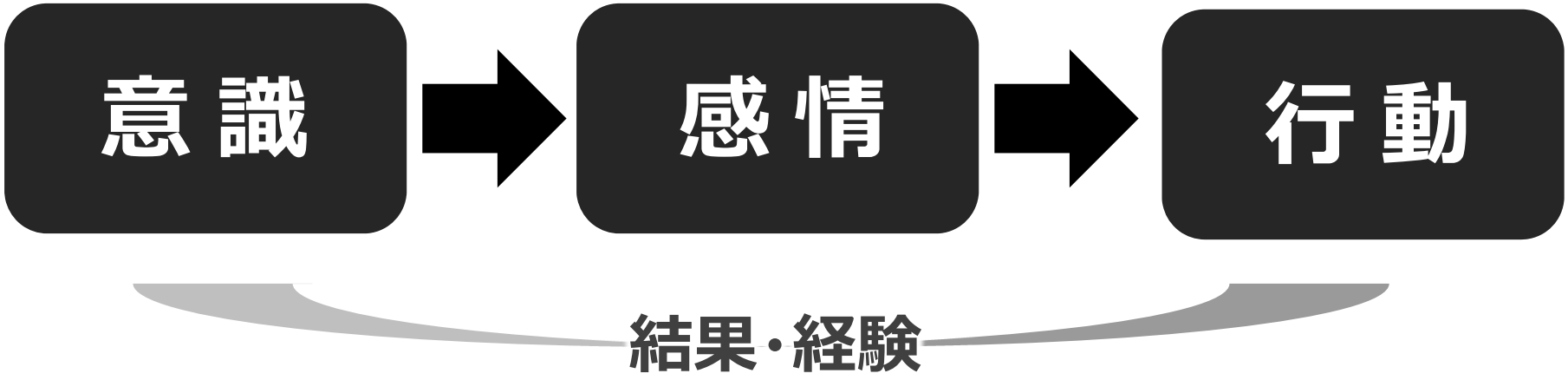
データブック国際労働比較2018より

© Hitachi, Ltd. 2019. All rights reserved.

『意識』に着目した理由

HITACHI
Inspire the Next

行動心理学的に考えると・・・



「主観での意識計測に意味があるのか？」と良く疑問をいただきますが、

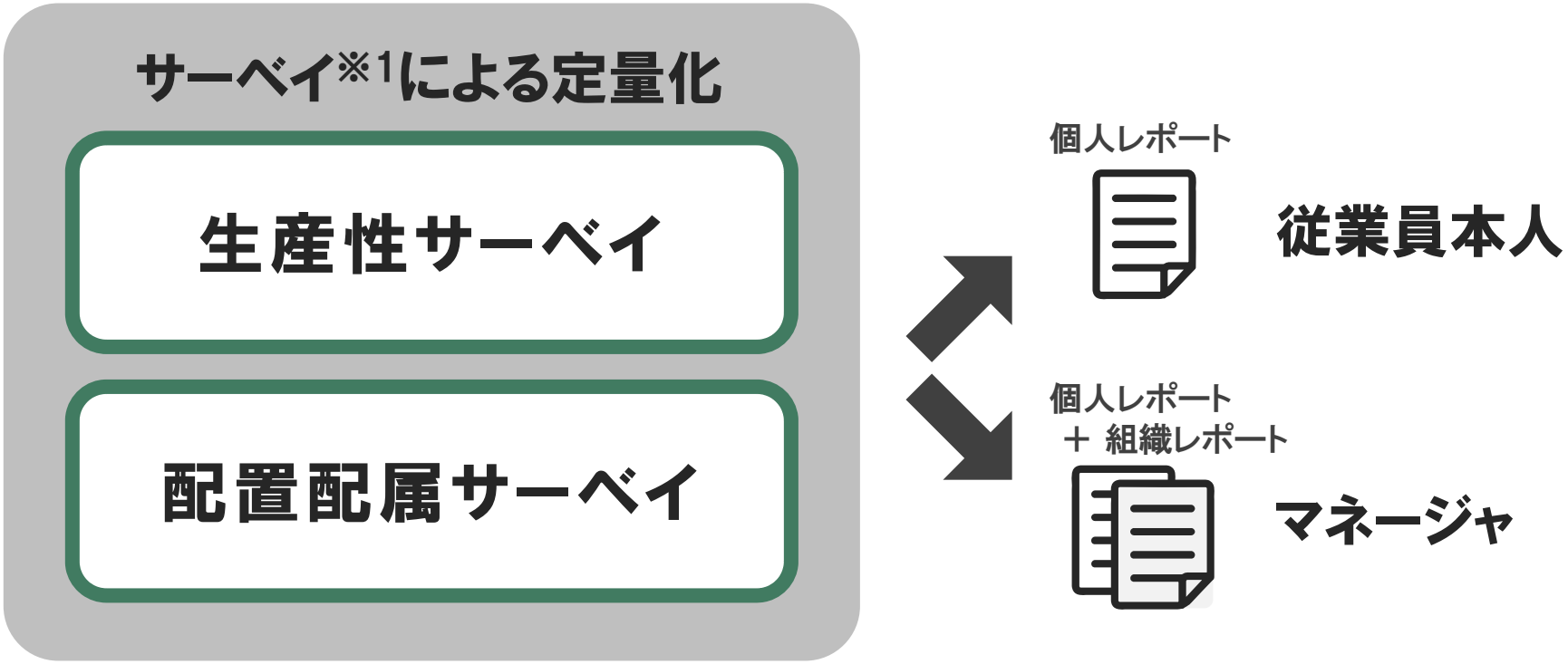
意識は正に主観の塊であり、そこをサーチすることで、

行動として現れる問題点の深堀りや是正を遣り易くなります。

© Hitachi, Ltd. 2019. All rights reserved.

開発サーベイの概要

HITACHI
Inspire the Next

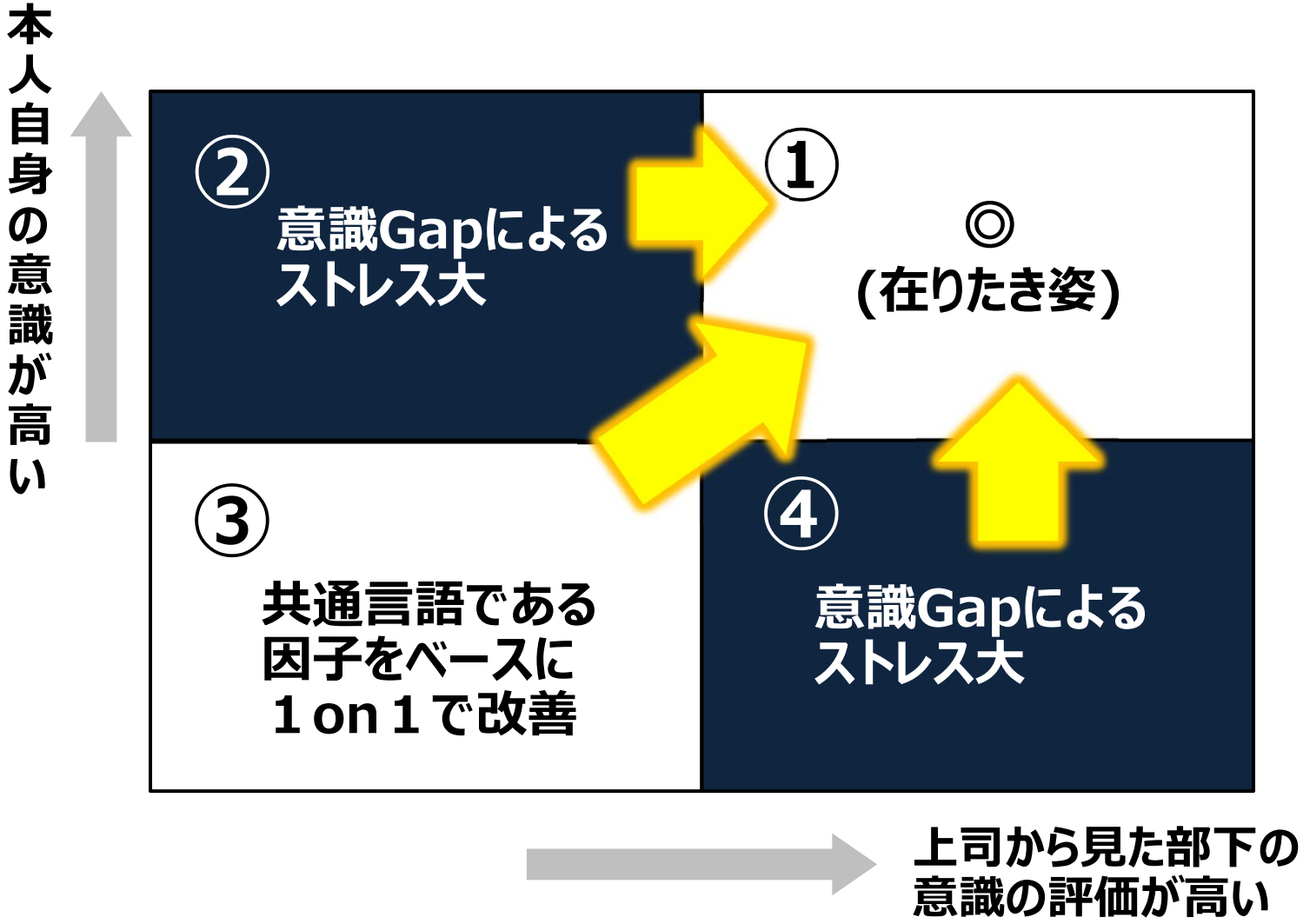


※1 筑波大学の学術指導のもとに、日立が開発した独自の測定方法を活用。

サーベイの種類	内　容
生産性サーベイ (11因子×３問)	一人ひとりが生産性高く働けているのか、生産性が高い組織であると思えているか、その**意識状態**を明らかにするもの
配置配属サーベイ (11因子×３問)	メンバー一人ひとりが配置配属に**フィット感を感じご機嫌な状態**で働いているか、また組織風土がそれを促進する状態にあるかを明らかにするもの

© Hitachi, Ltd. 2019. All rights reserved.

日立モデルサーベイで分かること



© Hitachi, Ltd. 2019. All rights reserved.

Dataが語るFact！（ある設計開発職場の例）

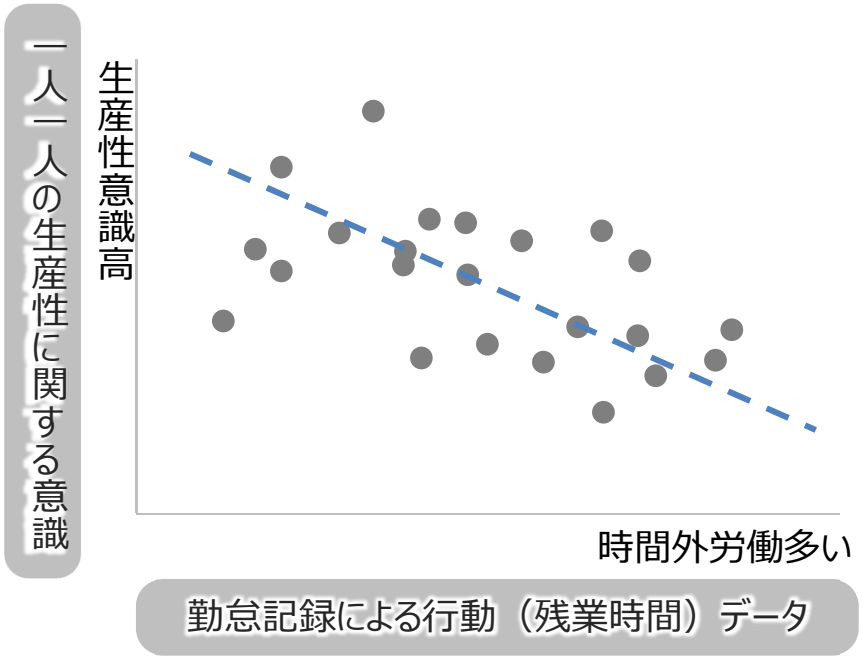
HITACHI
Inspire the Next

サーベイ結果

✕

行動データ
- 勤怠
- 出張履歴 など

金曜日の残業状況（グラフはイメージ）



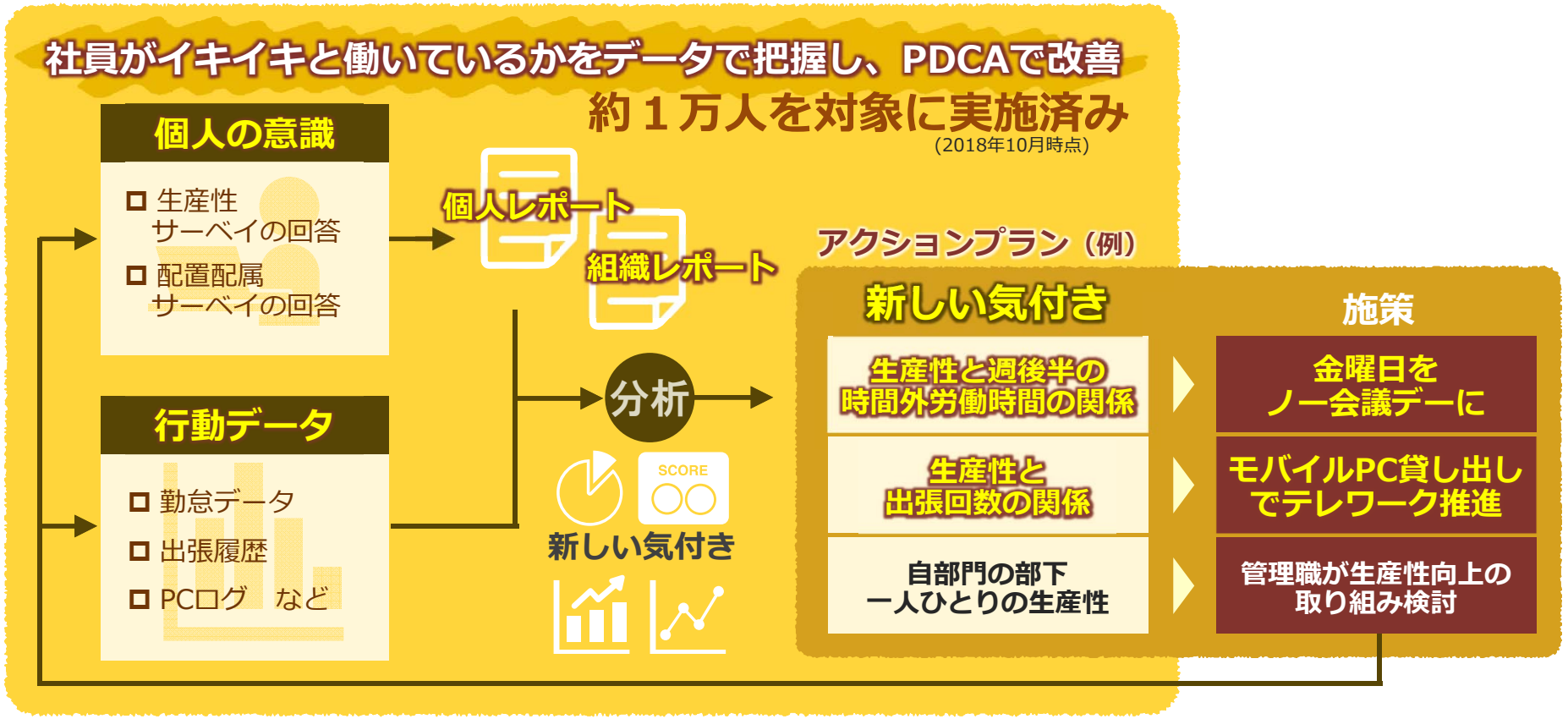
一方で休日出勤者の生産性の意識は何故か高かった。

これまでの手法では気付かなかった事実の発見

© Hitachi, Ltd. 2019. All rights reserved.

社員の意識を見える化し行動データと掛け合わせると・・・

HITACHI
Inspire the Next



更に分析結果を公表し「金曜日の残業」のマイナスイメージを教宣

⇒潜在意識への刷り込み

© Hitachi, Ltd. 2019. All rights reserved.

取組みの３つのメリット

HITACHI
Inspire the Next

１．１on１等に於けるコミュニケーションの質が劇的に向上！

共通言語である因子に基づく自身の強み・弱みが可視化され
「具体的な問題点やその改善策」がイメージ可能となり、
実行策を言語化・構造化・共有化できる。

２．普段、潜在化されている意識計測で、コミュニケーションGapを可視化！

職場に於ける最大のストレスである上長と部下のｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝGapが顕在化され、
人間関係が改善され、ストレスフリーな事業成長を実現する職場創りが可能に。

３．継続的なサーベイ×行動データで「人と組織の成長」がトレース可能！

通常、「人と組織の成長」には必ず爬行性がありますが、
リアルタイムでの現状把握が可能になり、アジャイルなスピード感溢れる
効果的な施策のローリングが可能に。

© Hitachi, Ltd. 2019. All rights reserved.

(ご参考)HRテクノロジー大賞(METI後援)受賞歴

HITACHI
Inspire the Next

2018年 第３回 HRテクノロジー大賞『大賞』を受賞

案件：**個を活かすPeople Analytics**

独自に開発した、個人の「生産性」および「配置フィット感」
心理尺度による個人の内面×人事・行動データの分析

評価：AIを用いて、サーベイで得た個人の意識とさまざまな人事・行動データを分析することで、一人ひとりの行動変革を促す課題抽出を行い、効果的かつ効率的な、より精度の高い人事施策の実行へとつなぐ取り組みが、評価された。

2016年 第1回 HRテクノロジー大賞『イノベーション賞』を受賞

案件：**採用アナリティクス**

ビッグデータアナリティクス技術を活用した、人財ポートフォリオ、採用スキーム設計と実行

評価：ビッグデータ分析技術と人事領域のナレッジを組み合わせることにより、ハイパフォーマ因子の抽出など、統計的で、より事業の変化にマッチした実行性が高い採用スキームの設計を行い、効果的な採用活動を実現したことが評価された。

© Hitachi, Ltd. 2019. All rights reserved.

HITACHI
Inspire the Next

END

人と組織の可視化サーベイのご紹介
～日立人財データ分析ソリューション～

2019/3/19

株式会社 日立製作所

© Hitachi, Ltd. 2019. All rights reserved.